

九都県市における 共生社会の実現に向けた取組

事例集

平成30年3月31日

首都圏連合協議会
共生社会の実現に向けた取組の推進検討会

— 目 次 —

○ 普及啓発		
・ 手話普及リレーキャンペーン	[埼玉県]	… 1
・ 障害者差別解消法及び県条例に係る事業者向け説明会	[埼玉県]	… 2
・ みんな幸せ・共生社会 県民のつどい	[埼玉県]	… 3
・ 障害のある人もない人も共に暮らしやすい千葉県づくり条例	[千葉県]	… 4
・ ヘルプカード普及・啓発	[千葉県]	… 5
・ 心のふれあいフェスティバル、心の健康フェア	[千葉県]	… 6
・ 千葉県身体障害者福祉大会	[千葉県]	… 7
・ 障害者差別解消法シンポジウム	[東京都]	… 8
・ 障害者週間関連事業	[東京都]	… 9
・ 障害者のためのふれあいコンサート	[東京都]	…10
・ 手話のできる都民育成事業	[東京都]	…11
・ とともに生きる社会かながわ推進週間	[神奈川県]	…13
・ みんなあつまれ 2017	[神奈川県]	…14
・ インクルーシブ教育推進フォーラム	[神奈川県]	…15
・ 第 21 回人権メッセージ展	[神奈川県]	…16
・ 第 22 回人権メッセージ展	[神奈川県]	…17
・ 平成 29 年度湘南ベルマーレと連携・協力した人権啓発活動	[神奈川県]	…18
・ バリアフリーフェスタかながわ 2016、2017	[神奈川県]	…19
・ 手話普及推進イベント	[神奈川県]	…20
・ 障害者理解促進研修コーディネート事業	[神奈川県]	…21
・ 障害者差別解消フォーラム	[神奈川県]	…22
・ 企業への普及啓発	[神奈川県]	…23
・ O!MORO LIFE プロジェクト	[横浜市]	…24
・ 障害者週間記念のつどい	[川崎市]	…25
・ 「心の輪を広げる体験作文」及び「障害者週間ポスター」の募集	[千葉市]	…26
・ 障害者福祉大会の開催	[千葉市]	…27
・ 福祉講話の実施	[千葉市]	…28
・ 障害者差別解消講演会の実施	[千葉市]	…29
・ 特別支援教育講演会・特別支援教育公開講座	[千葉市]	…30
・ 「障害者週間」市民のつどい開催事業	[さいたま市]	…32
・ 心の輪を広げる体験作文・障害者週間のポスターの募集	[相模原市]	…33
・ 相模原市共生社会推進事業（キャッチフレーズ策定・活用）	[相模原市]	…34
・ 相模原市共生社会推進事業（障害への理解を進める情報発信サイト「さーくる」）	[相模原市]	…35
・ 相模原市共生社会推進事業（相模原市障害者週間のつどい）	[相模原市]	…36
・ 障害者差別解消研修の実施	[相模原市]	…37

○ 教育		
・「みんなの教室」モデル事業	[神奈川県]	…38
・インクルーシブ教育実践推進校	[神奈川県]	…39
・「いのちの授業」の推進	[神奈川県]	…40
○ 健康・スポーツ		
・彩の国ふれあいピック	[埼玉県]	…41
・千葉県障害者スポーツ大会	[千葉県]	…42
・かながわパラスポーツ推進事業	[神奈川県]	…43
・セーリング海上体験会	[神奈川県]	…44
・パラスポーツフェスタちばの開催	[千葉市]	…45
・ノーマライゼーションカップ	[さいたま市]	…46
・さいたまスポーツフェスティバル	[さいたま市]	…47
○ 地域交流		
・手をつなぐフェスティバル	[川崎市]	…48
・地域コミュニティ活動への参加支援	[相模原市]	…49
○ 文化芸術		
・障害者アートフェスティバル及び埼玉バリアフリー文化プログラムの開催	[埼玉県]	…50
・塙保己一賞	[埼玉県]	…51
・県有文化施設のバリアフリー化	[神奈川県]	…52
・障害者作品展の開催	[千葉市]	…53
・相模原地区障害児・者作品写真展	[相模原市]	…54
・相模原市障害者作品展	[相模原市]	…55
○ 就労・就労支援		
障害者職業能力開発校の運営	[神奈川県]	…56
障がい者の態様に応じた多様な委託訓練の実施	[神奈川県]	…57

手話普及リレーキャンペーン

- 活動地域：埼玉県全域ほか
- 活動日時：6/29、8/19、10/27、11/19の年4回程度開催

○ 内容

広く県民の手話への関心と理解を深め、手話を身近に感じるためのきっかけづくりとして、また、手話による文化芸術活動等の発表の場として、県内4地域を巡るリレーキャンペーンを実施する。

対象は、第1回と第3回は、各小学校の児童と保護者を対象に、第2回と第4回は、小学校中学年から中学校2年生までとその保護者を主な対象とするが、幼児から高齢者まで幅広く対象とする。

埼玉県ゆかりのアニメ「クレヨンしんちゃん」のキャラクターと一緒に、挨拶や自分の名前など、簡単な手話を学ぶ手話講座と、手話による文化芸術活動のステージ発表を実施。

○ 成果

平成29年度

第1回 6月29日(木) 9:30~11:30 三郷市立鷹野小学校(215人参加)

第2回 8月19日(土) 13:30~15:30 クラッセ川越(145人参加)

第3回 10月27日(金) 9:45~11:35 熊谷市立熊谷西小学校(440人参加)

第4回 11月19日(日) 10:00~16:00 川口市立幸町小学校(700人参加)

※第1回と第3回は、複数の学年合同の総合学習の授業として実施した。

※第4回は、「障害者週間」記念事業として開催している「みんな幸せ・共生社会 県民のつどい」の中で実施した。

○ 取組の様子



○ 問い合わせ先

窓口	埼玉県(障害者福祉推進課)	住所	さいたま市浦和区高砂3-15-1
電話	048-830-3294	FAX	048-830-4789
E-mail	a3310-01@pref.saitama.lg.jp		
URL	http://www.pref.saitama.lg.jp/soshiki/a0604/index.html		

障害者差別解消法及び県条例に係る事業者向け説明会

○ 活動地域：埼玉県本庄市他3町、東松山市他7町村、川口市他2市

○ 活動日時：8/1、8/3,10/4

○ 内容

「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律」、「埼玉県障害のある人もない人も全ての人が安心して暮らしていける共生社会づくり条例」及び「埼玉県手話言語条例」が平成28年4月に施行された。

そこで、県では法及び条例を円滑に施行するため、平成28年度から、事業者向けの説明会を市町村との共催により開催し、普及啓発を実施。

○ 成果

平成29年度

・8/1開催分：本庄市内で、本庄市、三里町、神川町、上里町と共催で共催で、各市町管内の事業者を対象に開催し、104人参加。

・8/3開催分：東松山市内で、東松山市、滑川町、嵐山町、小川町、川島町、吉見町、ときがわ町、東秩父村と共催で、各市町村管内の事業者を対象に開催し、249人が参加。

○ 問い合わせ先

窓口	埼玉県（障害者福祉推進課）、関係市町村（障害福祉担当課）	住所	さいたま市浦和区高砂3-15-1
電話	048-830-3294	FAX	048-830-4789
E-mail	a3310-01@pref.saitama.lg.jp		
URL	http://www.pref.saitama.lg.jp/soshiki/a0604/index.html		

みんな幸せ・共生社会 県民のつどい

○ 活動地域：埼玉県全域ほか

○ 活動日時：7月～11月

○ 内容

障害や障害者に対する県民の理解を深めるとともに、学校・家庭・地域との連携を図りながら、お互いを認め尊重し合う共生の心を育む地域づくりを推進する。

(1) 記念式典、表彰式等、手話講座、アトラクション等

(2) 小中高等学校、特別支援学校及び障害者団体等による文化活動のステージ発表

(3) 交流及び共同学習等のステージ発表

(4) 障害者絵画展、特別支援学校・特別支援学級作品展

(5) 障害者施設、障害者団体及び特別支援学校等による物品販売

(6) 障害者体験（車椅子、アイマスク等）

○ 成果

平成29年度

日時：平成29年11月19日（日）10：15～15：40

会場：川口市立幸町小学校

参加者：午前の部（式典・手話普及リレーキャンペーン） 700人

午後の部（文化活動のステージ発表） 500人

障害者絵画展（＝特別支援学校・特別支援学級作品展） 434人

障害者体験 20人

○ 取組の様子



○ 問い合わせ先

窓口	みんな幸せ・共生社会 県民のつどい実行委員会	住所	さいたま市浦和区高砂3-15-1
電話	048-830-3294	FAX	048-830-4789
E-mail	a3310-01@pref.saitama.lg.jp		
URL	http://www.pref.saitama.lg.jp/soshiki/a0604/index.html		

障害のある人もない人も共に暮らしやすい千葉県づくり条例

○ 活動地域：千葉県全域

○ 活動日時：通年

○ 内容

平成19年7月に施行された障害のある人もない人も共に暮らしやすい千葉県づくり条例（以下「障害者条例」という）の広報を通じて、障害のある人に対する差別や偏見等をなくし、誰もが暮らしやすい社会づくりの取組を進める。

○ 成果

平成29年度

県民の日（6月15日）に千葉駅前で障害者条例に基づく広域専門指導員が広報活動を行いました。また、障害者週間にはラジオ放送により周知啓発に努めました。

○ 取組の様子



○ 問い合わせ先

窓口	千葉県（障害者福祉推進課）	住所	千葉市中央区市場町1-1
電話	043-223-2935	FAX	043-291-3977
E-mail	syousui@mz.pref.chiba.lg.jp		
URL	https://www.pref.chiba.lg.jp/shoufuku/shougai-kurashi/jourei/index.html		

ヘルプカード普及・啓発

○ 活動地域：千葉県全域

○ 活動日時：通年

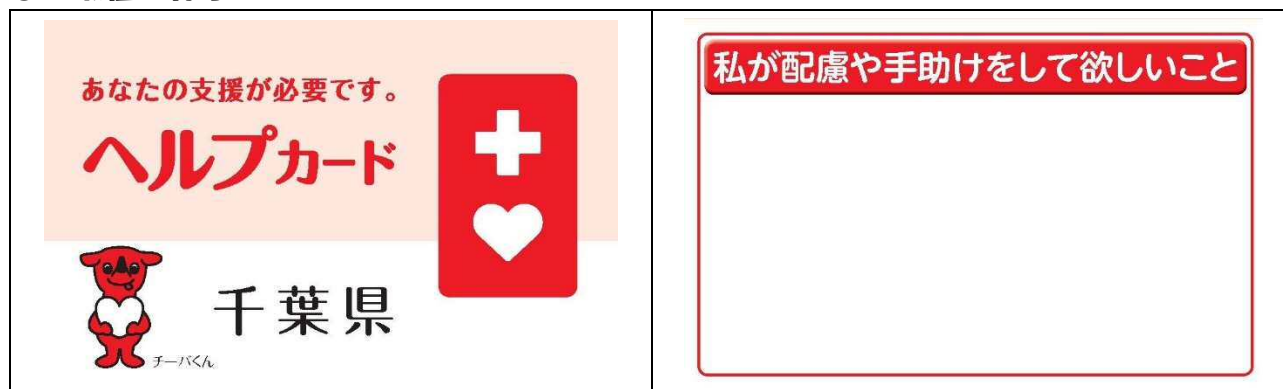
○ 内容

障害等により支援や配慮を必要としていることが外見からは分からない方が、周囲の人に支援等を必要としていることを知らせるための「ヘルプカード」及び「普及・啓発用チラシ」を作成して配布する。

○ 成果

29年度はカード5万5千枚、チラシ1万枚を作成した。各市町村、県健康福祉センター窓口等で配布している。

○ 取組の様子



○ 問い合わせ先

窓口	千葉県（障害者福祉推進課）	住所	千葉市中央区市場町1-1
電話	043-223-2935	FAX	043-291-3977
E-mail	syousui@mz.pref.chiba.lg.jp		
URL	https://www.pref.chiba.lg.jp/shoufuku/press/2017/herupuka-do.html		

心のふれあいフェスティバル、心の健康フェア

○ 活動地域：千葉県千葉市

○ 活動日時：各年1回

○ 内容

精神障害のある人の実情や地域移行について理解を広げるため、心のふれあいフェスティバルや心の健康フェア等、精神障害のある人と地域の人がふれ合う機会を提供し、関係団体と連携した普及啓発に努めます。

○ 成果

心のふれあいフェスティバル（参加者1,330名）や心の健康フェア（参加者635名）等を実施し、普及啓発に努めました。

○ 問い合わせ先

窓口	千葉県（障害者福祉推進課） （共催）	住所	千葉市中央区市場町1-1
電話	043-223-2334	FAX	043-291-3977
E-mail	syousui@mz.pref.chiba.lg.jp		
URL	chiseikyo.mdn.ne.jp		

千葉県身体障害者福祉大会

○ 活動地域：千葉県千葉市

○ 活動日時：年1回

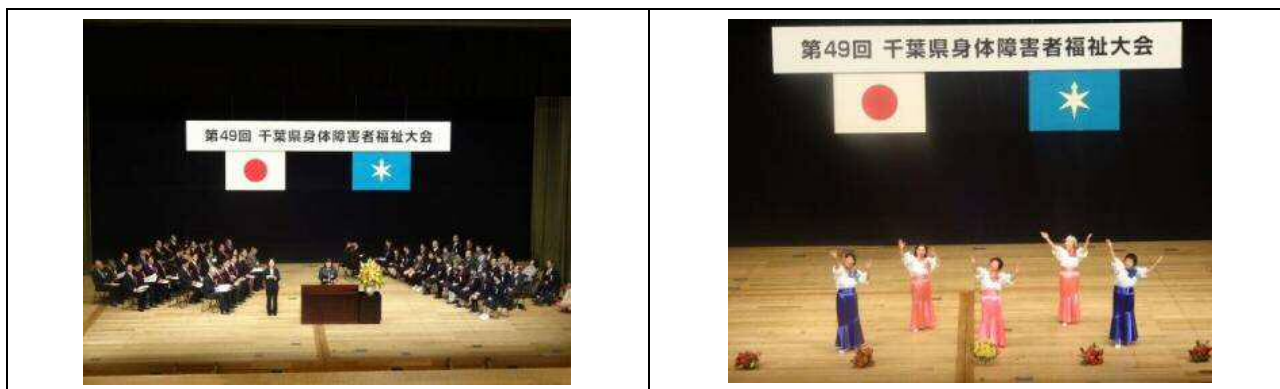
○ 内容

県内の身体障害者の福祉の増進を図るため、障害者週間行事の一環として千葉県身体障害者福祉大会を開催している。

○ 成果

大会では、身体障害者福祉功労者等への表彰を行うとともに、今年度は、手話ダンス・しすいによる手話ダンスの公演を行いました。

○ 取組の様子



○ 問い合わせ先

窓口	千葉県（障害者福祉推進課） （共催）	住所	千葉市中央区市場町1-1
電話	043-223-2340	FAX	043-291-3977
E-mail	syousui@mz.pref.chiba.lg.jp		
URL	https://www.pref.chiba.lg.jp/shoufuku/event/fukushitaiikai/h29kekka.html		

障害者差別解消法シンポジウム

- 活動地域：東京都
- 活動日時：2017/12/8
- 内容

障害者差別解消法の趣旨を、一層普及させることを目的に、都民・事業者を対象にした障害者差別解消法シンポジウムを開催し、学識経験者による基調講演やパネルディスカッションなどを行った。
- 成果

シンポジウムには、事業者・行政機関の職員・障害当事者など、250名以上の方が参加した。
- 取組の様子

障害者差別解消法シンポジウム

「まげだちくん」

日時 平成29年12月8日(金)
13:30~16:00
(受付開始は、12:30~)

会場 練馬区立区民・産業プラザ
3階 Coconeri ホール
(練馬駅下車北口 徒歩1分)

障害者差別解消法では、行政機関等や事業者に対し、「合理的配慮の提供」を求めています。シンポジウムでは、ぜひ一緒に合理的配慮について考えていきましょう！

プログラム

参加無料

- 1 基調講演 「『合理的配慮』は何を変えるか」
星加 良司 氏
(東京大学大学院教育学研究科附属/OJアフリー教育開発研究センター准教授)
- 2 合理的配慮の実演
「わたしたちが考え続ける『合理的配慮』」
(NPO) 東京ユニバーサルデザイン・コミュニケーターズ
- 3 パネルディスカッション
【コーディネーター】
川内 美彦 氏 (東洋大学ライフデザイン学部教授)
【パネリスト】
秋山 浩子 氏 (自立生活センター-日野事務局長((NPO)DPI日本会議))
関根 直人 氏 (弁護士)
山下 望 氏 (社会福祉法人南風会青梅学園統括施設長)

主催：東京都

○ 問い合わせ先

窓口	東京都	住所	
電話	03-5320-4559	FAX	03-5388-1413
E-mail	S0000230@section.metro.tokyo.jp		

障害者週間関連事業

- 活動地域：東京都
- 活動日時：毎年 12 月 3 日～12 月 9 日

○ 内容

障害及び障害者について都民の理解と認識を深め、障害者の社会参加を一層推進するため、毎年 12 月の「障害者週間」に、障害のある人もない人も参加でき、楽しみながら理解と関心を深めることができるイベント「ふれあいフェスティバル」を開催している。また、公募による標語と障害者の作品を用いたポスターを作成し、交通機関への広告掲出や教育機関等へ掲示している。

○ 成果

[平成 29 年度実績]

- ・平成 29 年度「障害者週間」記念の集い 第 37 回ふれあいフェスティバルの開催
平成 29 年 12 月 4 日（月）、都庁大会議場、参加者数 約 320 人

- ・障害者週間ポスター

絵：高田 踊琴 さん 「陽だまり」（第 32 回東京都障害者総合美術展入選作品）

標語：山野 大輔 さん 「寄り添えば 心と心 あったかい」（一般公募）

障害に関するシンボルマーク紹介

ポスター作成数 9200 枚、交通機関広告掲出 3200 枚

○ 取組の様子



○ 問い合わせ先

窓口	東京都	住所	
電話	03-5320-4147	FAX	03-5388-1413
E-mail	S0000230@section.metro.tokyo.jp		

障害者のためのふれあいコンサート

- 活動地域：東京都
- 活動日時：平成 30 年 3 月 11 日（日）
- 内容

障害のある人及びその家族等に対し、オーケストラやオペラ等の芸術に親しむ機会を提供することにより、文化活動等への積極的な参加を行い、もって障害者の社会参加促進を図ることを目的とし、（公財）東京都交響楽団及び（公財）日本チャリティ協会と開催する。

[平成 29 年度予定]

 - ・対象 都内在住 1800 人
 - ・1部 フラジルで生まれた音楽・ボサノバのギターと歌 ボサノバ歌手 小野 リサ
 - ・2部 都響シンフォニック・ステージ 指揮 大野 和士 東京都交響楽団
- 成果

[平成 28 年度実績]

 - ・平成 29 年 3 月 12 日（日） 新宿文化センター大ホール 参加者数 約 1000 人
- 取組の様子



○ 問い合わせ先

窓口	東京都	住所	
電話	03-5320-4147	FAX	03-5388-1413
E-mail	S0000230@section.metro.tokyo.jp		

手話のできる都民育成事業

○ 活動地域：東京都

○ 活動日時：通年

○ 内容

東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会に向け、聴覚障害者が、安心して東京を訪れることができるよう、手話及び聴覚障害についての理解と関心を深めることを目的に 手話リーフレットの配布やイベント「TOKYO みみカレッジ」を開催する。

手話リーフレットは、「あらいぐまラスカル」をナビゲーターに起用し、手話に関心を持ち理解を深めてもらうきっかけづくりとして「手話普及啓発リーフレット」を手話に興味を持つ手話初学者の自学自習用に活用できる教材として「手話普及啓発ブックレット」を作成し、配布するとともにホームページに掲載している。

「TOKYO みみカレッジ」は、手話人口の裾野を広げていくために、大学生を中心とした若年層に向けて、公立大学法人首都大学東京、NECと協働し、障害者団体の協力を得て実施している。

○ 成果

【平成 29 年度実績】

- ・手話リーフレット「話そう！手のことば～はじめての手話～」随時配布
手話ブックレット「話そう！手のことば～おもてなしの手話 BOOK」随時配布の他、企業等約 4000 か所に配布
- ・TOKYO みみカレッジの開催

平成 29 年 11 月 19 日（日）、首都大学東京南大沢キャンパス、参加者数約 800 人
実施内容：①大学生手話サークル等による手話パフォーマンス等②テフリンピックメダリスト報告③「中途失聴・難聴」について考える学生参加型ワークショップ④ゲストに迎えたラジオ公開録音⑤NECワークショップ⑥障害者団体等展示⑦聴導犬でもん捨てレーション⑧手話のミニカレッジ（手話の入門講座）⑧手話 de モギ店

○ 取組の様子



○ 問い合わせ先

窓口	東京都	住所	
電話	03-5320-4147	FAX	03-5388-1413
E-mail	S0000230@section.metro.tokyo.jp		

ともに生きる社会かながわ推進週間

- 活動地域：神奈川県全域ほか
- 活動日時：7/26を含む1週間

○ 内容

津久井やまゆり園事件（H28.7.26）を風化させることなく、ともに生きる社会を実現していくことを目指して、事件が発生した日を含む1週間を「ともに生きる社会かながわ推進週間」として定め、集中的な広報に取り組む。

平成29年度は、ポスターや動画を作成し、新聞広告、インターネット広告、交通広告を実施している。また、県の広報媒体等を活用し、積極的な広報を行っている。

○ 成果

平成29年度

- ・新聞広告：読売新聞、朝日新聞（7/25）
- ・交通広告等：（1）小田急全線、東急主要路線（大井町線・田園都市線・東横線・目黒線）及びJR横浜線の車内ビジョンや、JR横浜駅、東急電鉄菊名駅、溝の口駅及び武蔵小杉駅で1PR動画を放映した。（2）県内ターミナル駅を中心に、駅貼りポスターを掲示した。（17駅）
- ・インターネット広告：Facebook や読売 ONLINE
- ・Tシャツの着用による普及啓発（2000枚）
- ・チラシ配布及びポスター掲示

○ 取組の様子



○ 問い合わせ先

窓口	神奈川県（共生社会推進課）	住所	横浜市中区日本大通り1
電話	045-210-4961	FAX	045-201-2051
URL	http://www.pref.kanagawa.jp/cnt/f535463/		

みんなあつまれ 2017

○ 活動地域：神奈川県全域ほか

○ 活動日時：3月17・18日

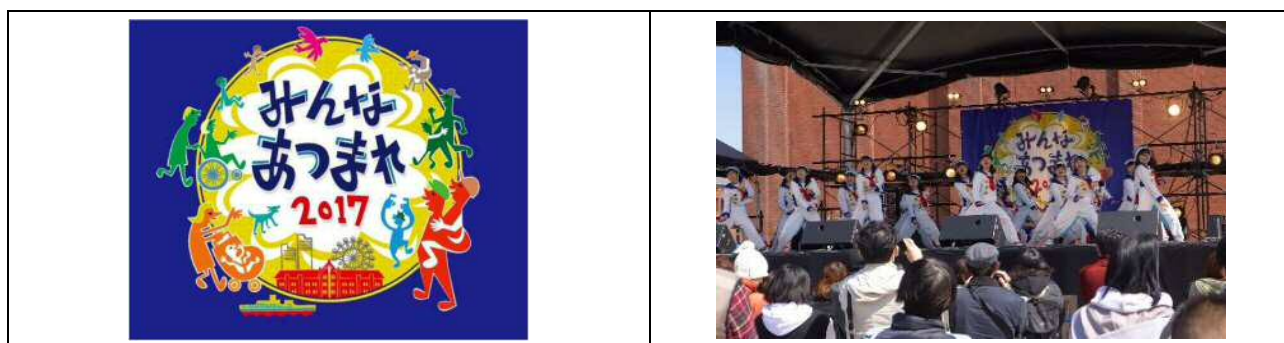
○ 内容

音楽やスポーツ、ダンスなどを、みんなと一緒に楽しみ、同じ時間や体験を共有することで、「ともに生きる社会」を自分の身近に考え、自ら行動するきっかけづくりを目指す。

- ・[音楽] イベントの趣旨に賛同し発信力のあるアーティストのLIVEステージ
- ・[スポーツ] パラスポーツ、ダンスなどを通じて体験を共有する企画
- ・[グルメ] 障がい福祉サービス事業所等の出店プロジェクト

○ 成果

ともに生きる社会かながわ憲章の理念をチラシ(8,500部)や場内アナウンスで周知し、延べ11万3千人の来場者に発信することができた。事前のダンス練習会や、イベント当日の会場内など、様々な場面で来場者と障がい者が交流することができた。



○ 問い合わせ先

窓口	みんなあつまれ 2017 実行委員会 (事務局：神奈川県 (共生社会推進課))	住所	横浜市中区日本大通り1
電話	045-210-4961	FAX	045-201-2051
E-mail	tomoiki.info.28gj@pref.kanagawa.jp		
URL	http://www.pref.kanagawa.jp/cnt/p1145179.html		

インクルーシブ教育推進フォーラム

- 活動地域：神奈川県全域ほか
- 活動日時：平成28年度：9月4日、11月12日、11月23日、12月18日
平成29年度：7月28日、8月23日、10月7日、10月28日

○ 内容

支援教育の理念のもと、共生社会の実現に向け、すべての子どもができるだけ同じ場で共に学び共に育つ「インクルーシブ教育」を推進するため、県民を対象にしたフォーラムを開催する。

平成29年度のフォーラムはインクルーシブ教育の理念についての説明に加え、具体的な取組についても報告し、参加者がインクルーシブ教育についての理解を深めるとともに、インクルーシブな学校づくりについて意識を高めていただく機会とする。

○ 成果

- ・4回の開催で、合計1008名の参加があった。うち、県職員を除く県民の参加者は433名(43.0%)であり、平成26年度20.6%、平成27年度33.3%を大きく上回った。
- ・一般の参加者は、「インクルーシブ教育」という言葉自体を初めて知ったという状態だったが、その理念について、一定程度理解してもらうことができた。
- ・会場の参加者から前向きな意見が出された。自分の地域のこととしてとらえ、自分が学校や地域で何ができるかを考えている参加者が多かった。
- ・地域の各自治会・福祉関係機関・商工会議所等労働関係機関を訪問して、フォーラムの趣旨を説明し、参加やパネリストとしての登壇を依頼した。今後のインクルーシブ教育推進に向けて、学校・市町教委・県教委との関係機関が連携していく第一歩となった。

○ 問い合わせ先

窓口	神奈川県（インクルーシブ教育推進課）	住所	横浜市中区日本大通り33
電話	045-285-1021	FAX	045-210-8939
E-mail	fm4030.r9b@pref.kanagawa.jp		
URL	http://www.pref.kanagawa.jp/cnt/f533428/		

人権メッセージ展

- 活動地域：神奈川県横浜市
- 活動日時：平成 28 年 12 月 3～4 日（第 21 回）
平成 29 年 12 月 2～3 日（第 22 回）

○ 内容

すべての県民が、様々な人権問題を自分自身の問題として認識し、人権尊重の理念についての理解を十分深め、日常生活の中で態度や行動として根付くことを目的として、神奈川県が事務局となっている、企業、民間団体、市町村及び県等で構成する「神奈川県人権啓発推進会議」主催により、県民誰もが参加できる啓発活動を実施するもの。

平成 28 年度は 12 月 3～4 日に、みなとみらい駅直結のクイーンズスクエア横浜クイーンズサークルにて、通行者を対象に開催。ステージアトラクションやパネル展示、来場者がシールを貼ることによって絵に色をつける取組み等を行った。また、シールを貼った参加者には障害者地域作業所連絡協議会作製の啓発物品等を配布した。

平成 29 年度は 12 月 2～3 日に、みなとみらい駅直結のクイーンズスクエア横浜クイーンズサークルにて、通行者を対象に開催した。ステージアトラクションにおける手話教室や盲導犬デモンストレーション、パネル展示、スタンプラリー、来場者がシールを貼ることによって絵に色をつける取組み等を実施した。また、スタンプラリー参加者には障害者地域作業所連絡協議会作製の啓発物品等を配布した。

○ 成果

ステージアトラクションとして盲導犬のデモンストレーションやミニ手話講座等を実施し、障害のある方への理解促進が図られた。また、「ともに生きる社会かながわ憲章」のパネル展示も実施し、共生意識の普及啓発を行った。

平成 28 年度は、シールの貼り付けや障害者地域作業所連絡協議会の啓発物品を受け取った人数は計 2,400 名程度であったが、それに加えてステージやパネルを観覧しただけの方々等も多く、数字以上の効果があったと思料される。

○ 取組の様子
平成 28 年度



平成 29 年度



○ 問い合わせ先

窓口	神奈川県人権啓発推進会議	住所	横浜市中区日本大通 1
電話	045-210-3637	FAX	045-210-8832
E-mail	suisin@pref.kanagawa.jp		
URL	http://www.pref.kanagawa.jp/cnt/f370256/		

平成 29 年度湘南ベルマーレと連携・協力した人権啓発活動

- 活動地域：神奈川県平塚市
- 活動日時：平成 29 年 9 月 30 日

○ 内容

Jリーグ湘南ベルマーレと連携協力し、Shonan BMW スタジアムでのベルマーレホームゲーム開催日に人権啓発ブースを出展し、啓発活動を行っている。平成 29 年度 9 月 30 日（予定）は、視覚障害のある方が行うことができるように考案されたフラインドサッカーの体験コーナーを設けることで、視覚障害者への理解促進を図る予定。

○ 取組の様子



○ 問い合わせ先

窓口	神奈川県人権啓発活動ネットワーク協議会、神奈川県	住所	横浜市中区日本大通り 1
電話	045-210-3637	FAX	045-210-8832
E-mail	fm0216.s8c@pref.kanagawa.jp		
URL	http://www.moj.go.jp/jinkennet/Kanagawa/Kanagawa_index.html		

バリアフリーフェスタかながわ 2016
バリアフリーフェスタかながわ 2017

- 活動地域：神奈川県相模原市（開催場所）
- 活動日時：平成 28 年 10 月 23 日、平成 29 年 10 月 8 日（予定）

○ 内容

バリアフリーの街づくり施策を推進するために設置された、神奈川県バリアフリー街づくり推進県民会議では、障害者、高齢者、妊産婦、乳幼児連れの方などが安心して生活し、自らの意思で自由に移動し、社会に参加できる街づくりを進めている。その一環として、県内の障害者等の団体、事業者、NPO 団体、公募委員、大学、行政の協働により、平成 25 年度から毎年「バリアフリーフェスタかながわ」を開催している。各団体ごとに出展コーナーを設け、ステージイベントを実施することにより、バリアフリーの街づくりを体感してもらい、バリアフリーの街づくりに対する理解を深めることを目的としている。

○ 成果

※平成 28 年度に実施したイベントの成果・効果

- ・大型商業施設で開催したことで、当日は、一般県民延べ約 1,830 人が参加。
- ・来場者アンケートで、「バリアフリーに興味をもった」と回答した人数が 9 割を超えるなど、来場者に対して多くのバリアフリーを体験できる機会を提供したことにより、バリアフリーの街づくりに対する理解を深めることができたと考えられる。

○ 取組の様子



○ 問い合わせ先

窓口	神奈川県バリアフリー街づくり推進県民会議（事務局：神奈川県地域福祉課）	住所	横浜市中区日本大通り 1
電話	045-210-4748	FAX	045-210-8859
E-mail	barrierfree@pref.kanagawa.jp		

手話普及推進イベント

- 活動地域：神奈川県横浜市（開催場所）
- 活動日時：平成 28 年 9 月 10 日、平成 29 年 10 月 8 日（予定）

○ 内容

平成 28 年 3 月に策定した神奈川県手話推進計画に基づき、広く県民に手話の普及を進めている。

平成 28 年度は、若い世代を中心に手話に対する理解を深めていただくため、劇中に手話を使用されている映画「聲（こえ）の形」とコラボレーションし、手話普及推進イベントを開催した。当日は、映画「聲の形」の先行上映のほか、映画に出てくる手話を学べる手話講習会を実施した。

平成 29 年度は、手話推進計画の方向性である、①手話の理解、②手話の学び、③手話を使う環境づくりについて理解を深め、ろう者とろう者以外の者の相互理解を深めるため、手話普及推進大使である斉藤由貴氏も参加する手話普及推進イベントを開催する。

○ 成果

※平成 28 年度に実施したイベントの成果・効果

- ・当日は約 400 人が参加。
- ・参加者は 400 人ではあるが、この映画をきっかけに、手話について普及することができたと考えられる。

○ 取組の様子



○ 問い合わせ先

窓口	神奈川県（地域福祉課）	住所	横浜市中区日本大通り 1
電話	045-210-4804	FAX	045-210-8859
E-mail	shuwa@pref.kanagawa.jp		

障害者理解促進研修コーディネート事業

○ 活動地域：神奈川県全域

○ 活動日時：年間

○ 内容

①企業等が実施する社員、職員等への研修や勉強会において、障害者の受入れに際して必要な配慮等に関する研修を実施するよう働きかけ、企業等の希望に応じて、研修内容の相談や障害当事者等の講師を紹介・派遣する。

②企業等において、障害者に対する取組みの中心的な役割を担う人を心のバリアフリー推進員として養成する。

○ 成果

①の事業

平成 28 年度実績 働きかけた企業等の数：2,126 か所 研修実施回数：26 回

研修受講者数（延べ）：254 人

※②の事業は平成 29 年度から実施

・企業等での障がい者理解を進めることができたと考えられる。

○ 問い合わせ先

窓口	神奈川県（障害福祉課）	住所	横浜市中区日本大通り 1
電話	045-210-4907	FAX	045-201-2051
E-mail	syakaisanka.suisin@pref.kanagawa.jp		
URL	http://www.pref.kanagawa.jp/cnt/f6310/		

障害者差別解消フォーラム

- 活動地域：神奈川県
- 活動日時：障害者週間

- 内容
障害者差別法に関する周知のためのフォーラムを開催。

- 成果
平成28年12月2日（金）に、かながわ県民センターにおいて開催し、障害当事者の講演、障害者差別に関するシンポジウムを実施。（参加者 63名）

○ 問い合わせ先

窓口	神奈川県（障害福祉課）	住所	横浜市中区日本大通り1
電話	045-210-4961	FAX	045-201-2051
E-mail	fm1309.a5b@pref.kanagawa.jp		

企業への普及啓発

○ 活動地域：神奈川県県内全域

○ 活動日時：通年

○ 内容

障がい者雇用を促進するためには企業の理解が不可欠であることから、企業等を対象に障がい者雇用促進フォーラムや障がい者雇用のための企業交流会「はじめての一步」を開催するとともに、障がい者雇用促進啓発誌「ともに歩む」の作成、「かながわ障害者雇用優良企業」の認証などを通じて、障がい者雇用の普及啓発を図る。

○ 成果

平成28年度実績

- ・障がい者雇用促進フォーラムの開催
平成28年9月6日（火） 参加者数 355人
- ・障がい者雇用のための企業交流会「はじめての一步」の開催
平成28年6月16日～平成29年2月20日（7回） 参加者数 延165人
- ・障がい者雇用促進啓発誌「ともに歩む」の作成 10,000部発行
- ・かながわ障害者雇用優良企業の認証 認証法人数（H29.3.31現在）53法人

○ 取組の様子



障がい者雇用のための企業交流会「はじめての一步」

○ 問い合わせ先

窓口	神奈川県（雇用対策課）	住所	横浜市中区日本大通1
電話	045-210-5871	FAX	045-201-6952
URL	http://www.pref.kanagawa.jp/cnt/f6949/ ともに歩む（障がい者雇用に向けて） http://www.pref.kanagawa.jp/cnt/f420424/		

OMORO LIFE プロジェクト

- 活動地域：神奈川県横浜市
- 活動日時：平成 29 年 1 月～3 月

○ 内容

市民（市内在住・在勤・在学者）を対象とした啓発活動として、「障害のある人と障害のない人との交流の場」を創ることを通して、障害の理解を深め、障害のある人に適切な配慮ができる人の輪を市民の間に広げていくことを目的として、ワークショップを開催し、障害のある人と障害のない人がともに取組を企画・検討し、試行的に以下のとおりイベント等を実施した。

- ・カラフルマルシェ（手話を使ったグッズ販売や市内福祉事業所でつくるお菓子等を販売するマルシェを象の鼻テラスで開催）
- ・人生酒場（年代・性別・障害の有無等にかかわらず、多様な人同士、お酒を片手に互いの悩みを相談しあう場（人生酒場）を企画し、市内飲食店等で実施）

○ 成果

- ・神奈川新聞への掲載（平成 29 年 1 月 28 日）
- ・日頃、障害のある人とのやりとりが少ない者が本イベントに参加し、障害のある人とない人との交流が促進された。特に、大学生等の参加が見られ、計のべ 300 名以上の方々がワークショップ及びイベント等に参加していた。

○ 問い合わせ先

窓口	横浜市	住所	横浜市中区日本大通 18
電話	045-671-3601	FAX	045-671-3566
E-mail	kf-sabetsu-kaisyuu@city.yokohama.jp		
URL	https://ja-jp.facebook.com/OMOROLIFE/		

障害者週間記念のつどい

- 活動地域：神奈川県川崎市
- 活動日時：12/3 から 12/9

○ 内容

毎年12月3日から12月9日までの1週間を「障害者週間」と定め、誰もが相互に人格と個性を尊重し支えあう「共生社会」を掲げ、障害者の完全参加と平等の理念の普及・啓発を図ることを目的に、2部構成の式典を開催します。第1部では、「障害者週間」記念川崎市長表彰、障害者の理解の促進を図るため市民に募集した「障害者週間のポスター」及び「心の輪を広げる体験作文」の入賞作品の表彰、その年にスポーツ等で御活躍された方の表彰を行い、第2部では、講師の方をお招きしての講演会を開催します。

○ 成果

平成28年度 75名参加

○ 問い合わせ先

窓口	川崎市（障害福祉課）	住所	川崎市川崎区宮本町1
電話	044-200-2928	FAX	044-200-3932
E-mail	40syogai@city.kawasaki.jp		

「心の輪を広げる体験作文」及び「障害者週間ポスター」の募集

○ 活動地域：千葉県千葉市

○ 活動日時：7月～9月

○ 内容

障害者週間の取組の一環として、障害者に関する理解の促進を図るため、作文及びポスターを募集し、最優秀作品を内閣府に推薦している。

なお、最優秀賞受賞者は12月に開催する「障害者福祉大会」において表彰している。

○ 成果

[平成29年度実績等]

・応募総数：117件（作文：67編、ポスター：50点）

<内訳>

・作文 小学生：35編、中学生：31編、高校一般：1編

・ポスター 小学生：10点、中学生：40点

○ 取組の様子



○ 問い合わせ先

窓口	内閣府及び千葉市（障害者自立支援課）【共催】	住所	千葉市中央区千葉港1-1
電話	043-245-5175	FAX	043-245-5549
E-mail	shogaijiritsu.HWS@city.chiba.lg.jp		
URL	http://www.city.chiba.jp/hokenfukushi/koreishogai/jiritsu/kokoronowa/h29_kokoronowa_bosyuu.html		

障害者福祉大会の開催

○ 活動地域：千葉県千葉市

○ 活動日時：12月初旬（障害者週間に合わせて実施）

○ 内容

障害者週間の取組の一環として、障害者の自立の促進と市民意識の啓発及び障害者間の障害種別を超えた交流を深め、人と人との心のふれあいの輪を広げる。

具体的には、「心の輪を広げる体験作文」及び「障害者週間ポスター」募集者のうち最優秀作品賞受賞者の表彰、全国障害者スポーツ大会代表選手紹介、障害者又は関係者による体験・実践発表及び演奏・演技発表等を行っている。

※一般社団法人千葉市身体障害者連合会への委託事業

○ 成果

[平成 29 年度実績等]

開催日：12月2日

場所：千葉市ハーモニープラザ多目的ホール

参加者数：362人

○ 取組の様子



○ 問い合わせ先

窓口	千葉市（障害者自立支援課）	住所	千葉市中央区千葉港 1-1
電話	043-245-5175	FAX	043-245-5549
E-mail	shogajiritsu.HWS@city.chiba.lg.jp		
URL	http://www.city.chiba.jp/kenko/shogai/sonota/shogaisha/fukushitaiKai/		

福祉講話の実施

○ 活動地域：千葉県千葉市

○ 活動日時：通年

○ 内容

東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会の開催に向けて、市内の小中学校等において、障害及び障害者への理解を促進するため、障害者本人が学校に赴き、児童生徒の視点に立って体験談等を語るとともに、障害者スポーツ関係者によるスポーツ・レクリエーションや手話などの体験学習を通じて障害者と交流を深めることにより、共生社会の意識醸成を図ることを目的とする。

※一般社団法人千葉市身体障害者連合会への委託事業

※平成 29 年度から、対象校数を拡充するとともに、講話に加えて、スポーツ・レクリエーション等の体験学習も参加できるよう、事業拡充を行った。

○ 成果

【平成 29 年度予定】

・開催期間：6 月～2 月

・対象校：32 校（参考：平成 28 年度は 9 校）

・内容 福祉講話及びスポーツ・レクリエーションや手話などの体験学習

○ 問い合わせ先

窓口	千葉市（障害者自立支援課）	住所	千葉市中央区千葉港 1-1
電話	043-245-5175	FAX	043-245-5549
E-mail	shogajiritsu.HWS@city.chiba.lg.jp		

障害者差別解消講演会の実施

- 活動地域：千葉県千葉市
- 活動日時：7月

- 内容
市内企業等の経営者等を主対象に、平成28年4月施行の障害者差別解消法の概要・趣旨等の理解の促進につながる内容の講演会を開催する。
※一般社団法人千葉市身体障害者連合会への委託事業

- 成果
【平成29年度実績】
 - ・開催日：7/13
 - ・内容：「対話こそ共生社会を開くカギ」 弁護士 大胡田 誠
 - ・参加者：53人

- 取組の様子



○ 問い合わせ先

窓口	千葉市（障害者自立支援課）	住所	千葉市中央区千葉港 1-1
電話	043-245-5175	FAX	043-245-5549
URL	http://www.city.chiba.jp/hokenfukushi/koreishogai/jirit-su/29sabet-sukai-shokouenkai.html		

特別支援教育講演会・特別支援教育公開講座

- 活動地域：千葉県千葉市
- 活動日時：8月23日（水）、12月8日（金）

○ 内容

特別支援教育の理解・推進を図るために、教職員や市民を対象に開催する講演会と公開講座を開催している。市政だよりで案内を掲載したり、近隣の施設にポスターの掲示を依頼したりして、周知を図っている。それぞれの概要は以下の通り。

特別支援教育講演会(H29.8.23)

内容…「教師・保護者のための子ども理解と「支援的医療」について」

講師…青い鳥小児相談療育センター医師 原仁先生

特別支援教育公開講座(H29.12.8)

内容…「発達障害をもつ子どもたちがよりよい自立をするための支援について」

講師…早稲田大学教授 梅永雄二先生

○ 成果

【平成29年度実績等】

特別支援教育講演会「教師・保護者のための子ども理解と「支援的医療」について」（参加者170名）、特別支援教育公開講座「発達障害をもつ子どもたちがよりよい自立をするための支援について」（参加者135名）を開催した。参加者の主な感想は以下のとおり。

- ・発達障害の子をもっているので実感できることが多かった。服薬について理解できた。
- ・色々勉強をしている保護者がいると、質問を聞いて感じた。保護者が一緒に講演会の意義が分かった。
- ・本当の意味での将来にわたっての支援ということを考えさせられました。

○ 取組の様子



○ 問い合わせ先

窓口	千葉市教育委員会（養護教育センター）	住所	千葉市美浜区高浜3-2-3
電話	043-277-0101	FAX	043-277-1852
E-mail	yogokyoiku.EDS@city.chiba.lg.jp		
URL	http://www.cabinet-cbc.ed.jp/youse/		

「障害者週間」市民のつどい開催事業

- 活動地域：埼玉県さいたま市
- 活動日時：12月9日を含む1週間

○ 内容

障害者基本法に基づく12月3日から9日までの障害者週間を顕彰して、障害のある人もない人も共に生き、支え合う社会を実現していくために、市民に障害者への理解と関心を深めてもらうとともに、障害者の社会参加の推進を図る。

- ・ 「心の輪を広げる体験作文・障害者週間のポスター」の作品発表、表彰式
- ・ 全国障害者スポーツ大会結果報告
- ・ 基調講演
- ・ アトラクション
- ・ 障害者・難病者製作品展示
- ・ 体験コーナー（手話講座等）
- ・ 授産製品等の販売

○ 成果

【平成28年度実績】

- ・ 実施日 平成28年12月10日
- ・ 来場者数 1,142名

○ 取組の様子



○ 問い合わせ先

窓口	さいたま市 (障害政策課)	住所	さいたま市常盤6-4-4
電話	048-829-1306	FAX	048-829-1981
E-mail	shogai-seisaku@city.saitama.lg.jp		
URL	http://www.city.saitama.jp/002/003/004/001/index.html		

心の輪を広げる体験作文・障害者週間のポスターの募集

○ 活動地域：相模原市全域

○ 活動日時：7月～12月

○ 内容

障害の有無にかかわらず、誰もが相互に人格と個性を尊重し支えあう共生社会の実現を目指して、内閣府と共催で作文及びポスターを募集し、障害者に対する市民の理解の促進を図るもの。

応募作品の中から各部門の最優秀作品1編（点）を内閣府の選考に推薦するほか、応募作品の展示、入賞者の表彰及び入賞作品集の作成を行う。

○ 成果

平成28年度

・応募実績

心の輪を広げる体験作文：10編（小学生の部）

障害者週間のポスター：21点（小学生の部・中学生の部）

・作品の展示

12月1日～12月8日 あじさい会館1階ロビーにて展示

・入賞者の表彰

12月3日 平成28年度相模原市障害者週間のつどいにて入賞者の表彰を実施

・作品集の作成

200部作成し、市内小中学校・公共施設に配布

○ 問い合わせ先

窓口	相模原市健康福祉局福祉部障害政策課	住所	相模原市中央区中央2-11-15
電話	042-707-7055	FAX	042-759-4395
E-mail	shougai-seisaKu@city.sagamihara.kanagawa.jp		
URL	http://www.city.sagamihara.kanagawa.jp/boshu/etc/036477.html		

相模原市共生社会推進事業（キャッチフレーズ策定・活用）

○ 活動地域：相模原市全域

○ 活動日時：通年

○ 内容

障害の有無にかかわらず、あらゆる人の尊厳が守られ、安全で安心して暮らせる共生社会の実現に向けて、広く市民に対して障害及び障害者に関する理解の促進を図るため、キャッチフレーズを策定し、各事業で活用する。

○ 成果

平成 29 年度

・市広報へのキャッチフレーズ「共にささえあい 生きる社会」掲載

・以下事業での活用を予定

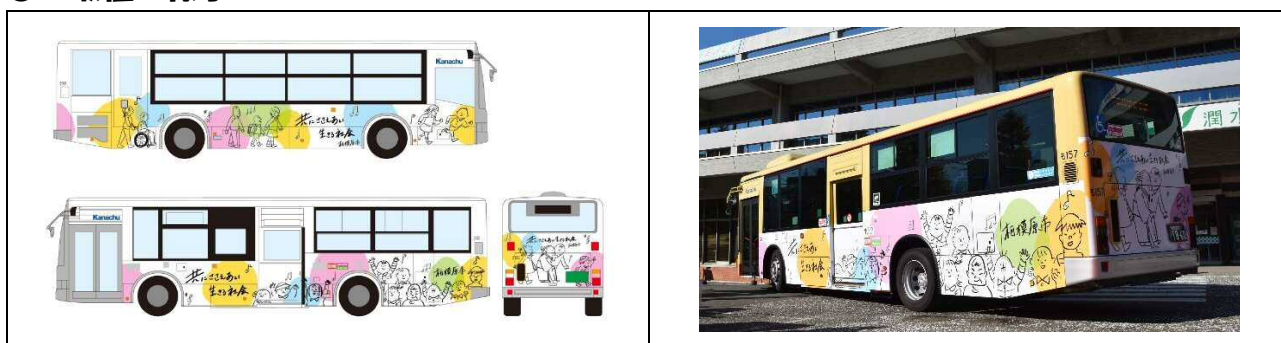
キャッチフレーズをイメージしたラッピングバスの運行

相模原市障害者週間のつどい

障害者週間に合わせた共感行動

障害への理解を進める情報発信サイト「さーくる」

○ 取組の様子



○ 問い合わせ先

窓口	相模原市健康福祉局福祉部障害政策課	住所	相模原市中央区中央 2-11-15
電話	042-707-7055	FAX	042-759-4395
E-mail	shougai-seisaku@city.sagamihara.kanagawa.jp		
URL			

相模原市共生社会推進事業（障害への理解を進める情報発信サイト「さーくる」）

○ 活動地域：相模原市全域

○ 活動日時：通年

○ 内容

障害及び障害児者に対する一般市民の理解促進を図るため、障害福祉団体の活動内容等を紹介するホームページを運営する。

○ 成果

平成 27 年度からホームページを公開し、障害者スポーツ等の障害に対する理解促進を図る記事や障害に関するイベント情報の発信を行っている。

○ 取組の様子



○ 問い合わせ先

窓口	相模原市健康福祉局福祉部障害政策課	住所	相模原市中央区中央 2-11-15
電話	042-707-7055	FAX	042-759-4395
E-mail	shougai-seisaku@city.sagamihara.kanagawa.jp		
URL	http://sagamiharashi-shougai.com/		

相模原市共生社会推進事業（相模原市障害者週間のつどい）

- 活動地域：相模原市全域
- 活動日時：12月（障害者週間内の1日）

- 内容
障害の有無にかかわらず、誰もが相互に人格と個性を尊重し支えあう共生社会を目指して、広く市民を対象とした講演会等を実施し、障害者に対する市民の理解の促進を図る。

- 成果
平成28年度
開催日：12月3日
会場：相模原市立あじさい会館1階 ホール
実施内容：心の輪を広げる体験作文・障害者週間のポスター入賞者表彰式
講演会「すべての人がともに暮らす社会をめざして」

- 取組の様子



○ 問い合わせ先

窓口	相模原市健康福祉局福祉部障害政策課	住所	相模原市中央区中央2-11-15
電話	042-707-7055	FAX	042-759-4395
E-mail	shougai-seisaku@city.sagamihara.kanagawa.jp		

障害者差別解消研修の実施

- 活動地域：相模原市全域
- 活動日時：不定期

○ 内容

平成 28 年 4 月に施行された障害者差別解消法について理解を深めることを目的とし、市職員及び外郭団体職員に向けた研修や講演会等を行う。

また、平成 29 年度からは庁外向けの市民講座において障害者差別解消法に特化した講座を新規に設置し、事業者や団体の要請に基づいて障害者差別解消法に関する講座を行う。

○ 成果

平成 28 年度

- ・ 障害者差別解消研修

開催日：平成 29 年 2 月 24 日

対象：市職員及び外郭団体職員

内容：障害者差別解消法の概要について、障害者に対する合理的配慮について

平成 29 年度

- ・ 障害者差別解消研修

開催日：7 月 26 日

対象：市職員及び外郭団体職員

内容：障害者の人権及び障害のある方への配慮について

○ 問い合わせ先

窓口	相模原市健康福祉局福祉部障害政策課	住所	相模原市中央区中央 2-11-15
電話	042-707-7055	FAX	042-759-4395
E-mail	shougai-seisaKu@city.sagamihara.kanagawa.jp		

「みんなの教室」モデル事業

○ 活動地域：神奈川県茅ヶ崎市、厚木市、南足柄市、寒川町

○ 活動日時：平成28年度～平成29年度

○ 内容

平成28年度、小・中学校においてインクルーシブ教育の推進を図るため、すべての子どもができるだけ通常の学級で学びながら、必要な時間に適切な指導を受けることができる別の場で学ぶ仕組みである「みんなの教室」のモデル事業を1市（茅ヶ崎市）から4市町（茅ヶ崎市、厚木市、南足柄市、寒川町）に拡大して実施し、モデル校の小・中学校7校において実践研究を行った。

平成29年度も引き続き、4市町7校で実践研究を行っている。

○ 成果

- ・教育相談コーディネーターを中心とした校内支援体制が整備され、支援が必要な子どもに関する情報共有・アセスメント・支援策の検討などが組織的に行われており、子どもへの指導・支援に関する教員同士の共通理解が図られるとともに、教員と保護者との信頼関係が築かれ、効果的な指導・支援につながった。
- ・支援が必要な様々な子どもが共に学ぶ機会が増えたことから、学習内容の明確化・学習方法の多様化・学習環境の構造化など、全学級での授業のユニバーサルデザイン化に向けた教職員の意識が高まり、わかりやすい授業づくりが進んだ。
- ・教科学習だけでなく、教育活動全体（朝の会、授業、給食、清掃、昼休み、帰りの会、学級活動、児童・生徒会活動、クラブ・部活動、学校行事など）における共に学ぶ仕組みづくりをとおして、集団の中の多様性を前提とした仲間づくりや互いに認め合う人間関係づくり、絆づくりが進んだ。

○ 問い合わせ先

窓口	神奈川県（インクルーシブ教育推進課）	住所	横浜市中区日本大通り33
電話	045-285-1021	FAX	045-210-8939
E-mail	fm4030.r9b@pref.kanagawa.jp		
URL	http://www.pref.kanagawa.jp/cnt/f533428/		

インクルーシブ教育実践推進校

○ 活動地域：神奈川県茅ヶ崎市、厚木市、南足柄市

○ 活動日時：平成28年度～平成29年度

○ 内容

平成28年度では、障がいのある生徒に高校教育を受ける機会を拡大するため、県立高校改革実施計画（1期）に基づいて、県立高校3校をインクルーシブ教育実践推進校（パイロット校）に指定し、平成29年度から知的障がいのある生徒を受け入れていくための施設整備等を実施した。また、入学者選抜もおこなった。

平成29年度からインクルーシブ教育実践推進校のパイロット校3校（茅ヶ崎高校、厚木西高校、足柄高校）に知的障がいのある生徒が入学した。

各パイロット校では現在、適切な教育課程の運営や効果的なキャリア教育の指導など、インクルーシブな学校づくりに向けて取り組んでいる。

○ 成果

- ・平成28年3月にインクルーシブ教育実践推進校（パイロット校）説明会を連携地域で合計9回開催し、県のインクルーシブ教育の推進やパイロット校の概要についての理解を図ったところ、平成28年度に実施した中高連携事業に3校で延べ277名の生徒・保護者等の参加があった。
- ・平成29年4月、インクルーシブ教育推進校（パイロット校）に3校で31名の生徒が入学し、高校におけるインクルーシブ教育の推進に向けて、スタートを切ることができた。
- ・障がいのある生徒が安心して高校生活を送るための、リソースルーム等の施設整備が進んだ。

○ 問い合わせ先

窓口	神奈川県（インクルーシブ教育推進課）	住所	横浜市中区日本大通り33
電話	045-285-1021	FAX	045-210-8939
E-mail	fm4030.r9b@pref.kanagawa.jp		
URL	http://www.pref.kanagawa.jp/cnt/f533428/		

「いのちの授業」の推進

○ 活動地域：神奈川県全域ほか

○ 活動日時：年間を通して

○ 内容

神奈川県では、子どもたちにあらゆる人がかかわって、百万通りの「いのちの授業」を展開し、「いのち」のかけがえのなさ、夢や希望をもって生きることの大切さ、人への思いやりなど、心ふれあう教育の推進を図っており、「いのちの授業」実践事例の集約や紹介、作文募集等を行っている。

H29年度は、ともに生きる社会を実現していくことを目指して、現在、各学校等で実施している様々な「いのちの授業」の更なる推進を図るために、「いのちの授業」ハンドブックを作成する予定。その後は実践的な活用に向けて、研修会を開催することや、県の広報媒体等を活用し、積極的な広報を行うこと等を検討していく。

○ 成果

H28年度

- ・「いのちの授業」実践事例数は、88,803件、そのうちHPアツプは、1,351件
- ・「いのちの授業」作文応募数は、5,265作品
- ・第4回「いのちの授業」大賞表彰式を平成28年11月27日にあーすフラザにて実施

H29年度

- ・引き続き「いのちの授業」の実践事例を集約し、作文募集を行っている。
- ・第5回「いのちの授業」大賞表彰式を平成29年12月10日にアースフラザで実施予定
- ・「いのちの授業」ハンドブックの作成にあたっては、学識経験者の他、4市4教育事務所の指導主事及び教育局内の関係各課指導主事等を委員とし、「いのちの授業」の一層の充実を図るため、学校に加え地域や家庭でも活用できる内容とし、33,500部を発行予定である。

○ 問い合わせ先

窓口	神奈川県（子ども教育支援課）	住所	横浜市中区日本大通り 33
電話	045-210-8292	FAX	045-210-8937
E-mail	fm4027.v + z.@pref.kanagawa.jp		
URL	http://www.pref.kanagawa.jp/cnt/f417796/		

彩の国ふれあいピック

- 活動地域：埼玉県全域
- 活動日時：2017/10/1

○ 内容

障害のある方を対象とした県内最大級のスポーツ大会で、陸上競技、フライングディスクのほかダンスや玉入れなどの気軽に参加できるレクリエーション種目を多く設けている。

○日時・会場

平成29年10月1日（日） 9時30分～15時00分

熊谷スポーツ文化公園 陸上競技場、彩の国くまがやドーム体育館

○ 成果

平成29年度

約2,000人（選手900人、役員・ボランティア等1,100人）が参加

○ 取組の様子



○ 問い合わせ先

窓口	埼玉県（障害者福祉推進課）	住所	さいたま市浦和区高砂3-15-1
電話	048-830-3303	FAX	048-830-4789
E-mail	a3310-02@pref.saitama.lg.jp		
URL	http://www.pref.saitama.lg.jp/soshiki/a0604/index.html		

千葉県障害者スポーツ大会

- 活動地域：千葉県千葉市ほか
- 活動日時：5月から12月（29年度）

- 内容
障害のある方の自立と社会参加を促進し、県民の障害のある方への理解を深めることを目的として開催している。

- 成果
29年度は11競技、4,330名の参加がありました（選手2,113名、選手団役員661名、競技役員491名、ボランティアその他1,065名）。

- 問い合わせ先

窓口	千葉県（障害者福祉推進課）	住所	千葉市中央区市場町1-1
電話	043-223-2340	FAX	043-291-3977
E-mail	syousui@mz.pref.chiba.lg.jp		
URL	https://www.pref.chiba.lg.jp/shoufuku/event/sports/taiKai.html		

かながわパラスポーツ推進事業

○ 活動地域：神奈川県全域ほか

○ 活動日時：年間

○ 内容

パラスポーツ（障がい者のスポーツ）を「障がいがある人がするスポーツ」という考え方から一歩進め、年齢や障がいの有無にかかわらず、すべての人が自分の運動機能を活かしてスポーツをする、観る、支えることを「かながわパラスポーツ」とし、平成27年1月に「かながわパラスポーツ推進宣言」を発表。

- ・平成28年度は、パラリンピアン等による講演やパラリンピック競技等の体験会を行う「かながわパラスポーツフェスタ」を県内2か所で実施。また、市町村等が各種イベントで実施するパラスポーツのミニ体験会への支援等を行った。
- ・また、「神奈川県スポーツ推進条例」第6条に「かながわパラスポーツの普及」を規定した。

○ 成果

- ・「かながわパラスポーツフェスタ2016」参加者数
（第1回）約1,000人、（第2回）約1,500人
- ・各種イベントにおけるミニ体験会：市町村への競技団体の講師派遣
（14市町14イベント）
- ・条例に「かながわパラスポーツの普及」を規定し、県は、かながわパラスポーツ（県民がそれぞれの関心、目的、体力、年齢、運動機能及び健康状態に応じて、生涯にわたり楽しみながらスポーツを行い、観覧し、及び支えることをいう。以下同じ。）に関する行事の実施その他かながわパラスポーツの普及に関し必要な施策を講ずるものとし、県全体で取組を推進している。

○ 取組の様子



○ 問い合わせ先

窓口	神奈川県（スポーツ課）	住所	横浜市中区日本大通り1
電話	045-285-0798	FAX	045-663-0113
E-mail	para-spo.cj99@pref.kanagawa.jp		

セーリング海上体験会

○ 活動地域：神奈川県横浜市

○ 活動日時：9月23日（H29）

○ 内容

江の島での東京2020大会・セーリング競技開催を契機として、障がい者セーリングの機運を高めるため、障がいのある方も気軽に楽しめるセーリング体験会を実施する。

○ 成果

体験会の実施により、障がいのある方も、セーリングに親しめるきっかけをつくることができる。

○ 取組の様子



○ 問い合わせ先

窓口	神奈川県（オリンピック・パラリンピック課）	住所	横浜市中区日本大通り1
電話	045-285-0787	FAX	045-663-0113
E-mail	olypara2020@pref.kanagawa.jp		
URL	http://www.pref.kanagawa.jp/cnt/f533219/		

パラスポーツフェスタちばの開催

- 活動地域：千葉県千葉市
- 活動日時：9月

○ 内容

東京2020パラリンピック競技大会では、千葉市で4競技が開催されることとなっており、また、車いすスポーツの聖地を目指し、大会支援等を行っているところである。

このことから、2020年大会の成功やパラスポーツの普及促進を図るため、競技体験会を中心としたイベント「パラスポーツフェスタちば」を平成28年より開催している。※実行委員会は千葉県、千葉市、千葉市スポーツ振興財団等で構成されています。

○ 成果

[平成29年度実績等]

- ・開催日：9月2日
- ・場所：千葉ポートアリーナ他
- ・参加者：2,944人

○ 取組の様子



○ 問い合わせ先

窓口	パラスポーツフェスタちば実行委員会、NHK千葉放送局	住所	千葉市中央区千葉港2-1
電話	043-245-5296	FAX	043-245-5299
E-mail	opsuishin.P0C@city.chiba.lg.jp		
URL	http://www.city.chiba.jp/sogoseisaku/sogoseisaku/opsuishin/parafes2017.html		

ノーマライゼーションカップ

○ 活動地域：埼玉県さいたま市

○ 活動日時：3月頃

○ 内容

「さいたま市誰もが共に暮らすための障害者の権利の擁護等に関する条例（通称ノーマライゼーション条例）」を広く周知啓発し、条例理念の推進とスポーツ振興を図ることを目的に、フラインドサッカーの国際親善試合（通称ノーマライゼーションカップ）を開催する。

○ 成果

【平成28年度実績】

- ・ 実施日 平成29年3月20日
- ・ 来場者数 1,142名

○ 取組の様子



○ 問い合わせ先

窓口	さいたま市 (障害政策課)	住所	さいたま市常盤6-4-4
電話	048-829-1306	FAX	048-829-1981
E-mail	shogai-seisaku@city.saitama.lg.jp		
URL	http://www.city.saitama.jp/002/003/004/001/002/001/p053120.html		

さいたまスポーツフェスティバル

○ 活動地域：埼玉県さいたま市

○ 活動日時：5月頃

○ 内容

オリンピック競技を含むアトラクション体験（バスケットボール、3×3、サッカー、ボルダリング、ビームライフル（射撃）、スケートボード、バドミントン、テニス（キッズテニス PLAY&STAY）、スラックラインなど）

パラリンピック競技を含むアトラクション体験（フラインドサッカー、車いすバスケット、ポッチャなど）

スポーツ大会の実施（3x3 GAME.EXE（3人制バスケットボール大会）

対象：小学生～一般）

スポーツメーカーによる出展、スポーツグッズの販売

○ 成果

【平成29年度実績】

平成29年5月13日、14日

・ 来場者数 21,000名

○ 取組の様子



○ 問い合わせ先

窓口	さいたま市（オリンピック・パラリンピック部）	住所	さいたま市常盤6-4-4
電話	048-829-1023	FAX	048-829-1985
E-mail	olympic-paralympic@city.saitama.lg.jp		
URL	http://www.city.saitama.jp/006/014/008/003/006/002/p053692.html		

手をつなぐフェスティバル

○ 活動地域：神奈川県川崎市

○ 活動日時：11月ごろ

○ 内容

市内の障害者、家族、地域の方々、施設職員等の多くの市民が参加し、スポーツや創作活動を通じて、ともに楽しみながら交流し、障害への理解・共生を意識し、ともに手をつなぐことを目的に開催しています。

○ 成果

平成28年度 1,009名参加

○ 問い合わせ先

窓口	川崎市（障害福祉課）	住所	川崎市川崎区宮本町1
電話	044-200-2928	FAX	044-200-3932
E-mail	40syogai@city.kawasaki.jp		

地域コミュニティ活動への参加支援

○ 活動地域：相模原市全域

○ 活動日時：不定期

○ 内容

公民館における活動発表、作品展示、身近な地域で開催されるイベント等において、障害者が参加しやすい環境づくりを支援し、障害者の地域コミュニティへの参加を促進する。

○ 成果

平成 28 年度

市内 11 箇所の公民館等において以下の催しを実施

- ・地域の障害児者の作品展示
- ・障害者スポーツ講習会の開催
- ・公民館まつりへの参加（自主製品の販売、バザー販売や歌・演奏による参加等）

○ 問い合わせ先

窓口	各地区公民館等
----	---------

障害者アートフェスティバル及び埼玉バリアフリー文化プログラムの開催

○ 活動地域：埼玉県全域ほか

○ 活動日時：8月～3月

○ 内容

障害者が芸術・文化面で持つ豊かな力を広く知っていただくため、障害者アートフェスティバルとして「打楽器ワークショップ」、「バリアフリーコンサート」、「障害者アート企画展」などを開催。

また、オリンピック・パラリンピックの機運を醸成し、レガシーとして障害者に対する「心のバリアフリー」の浸透を図るため、これまでのアートフェスティバルの実績を活かし、文化プログラムとして才能豊かな障害者アーティストによる「埼玉アール・フリュット展」、「障害者ダンスチーム（ハンドルズ）の公演」を開催。

○ 成果

平成29年度

- ・「打楽器ワークショップ」（8月～2月）
- ・「バリアフリーコンサート」（1/6）
- ・「障害者アート企画展」（12/6～10）
- ・「埼玉アール・フリュット展」（11/3～12/3）
- ・「障害者ダンスチーム（ハンドルズ）の公演（10/21、3/11）」

○ 取組の様子



○ 問い合わせ先

窓口	障害者アートフェスティバル 実行委員会、埼玉県	住所	さいたま市浦和区高砂3-15-1
電話	048-830-3312	FAX	048-830-4789
E-mail	a3310-03@pref.saitama.lg.jp		
URL	http://www.pref.saitama.lg.jp/a0604/kenko/shogaisha/jiritsu/bunkagejutsu/art-festival/index.html		

埴保己一賞

- 活動地域：埼玉県全域ほか
- 活動日時：2017/12/16

○ 内容

視覚に障害があいながらも、「群書類従(ぐんしょるいじゅう)」という我が国文化史上類を見ない大文献集を編集・出版した、現埼玉県本庄市出身の江戸時代後期の国学者である「埴保己一」。その精神を受け継ぎ、障害があいながらも不屈の努力を続け顕著な活躍をしている方や、このような障害者のために様々な貢献をしている方に「埴保己一」の名前を冠した賞を授与することにより、本人の活躍をたたえ、他の障害者等の励みとするとともに、埴保己一の人と業績を顕彰することを目的としている。

○ 成果

【実績】

- ・平成19年に埴保己一賞[大賞、奨励賞(40歳未満の障害者)及び貢献賞]を創設。地元の本庄市との共催で、厚労省、文科省及び全国社協のほか多くの障害者団体の後援を受けている。
- ・H28の大賞は、岡山県出身者、奨励賞は茨城県出身者が選考されるなど全国的な応募実績がある。

【主な年間スケジュール】

- ①募集：6月～8月
- ②選考：10月
- ③発表：11月
- ④表彰：12月

○ 取組の様子



○ 問い合わせ先

窓口	埼玉県(障害者福祉推進課)	住所	さいたま市浦和区高砂3-15-1
電話	048-830-3294	FAX	048-830-4789
E-mail	a3310-01@pref.saitama.lg.jp		
URL	http://www.pref.saitama.lg.jp/soshiki/a0604/index.html		

県有文化施設のバリアフリー化

○ 活動地域：神奈川県横浜市内

○ 活動日時：通年

○ 内容

県民文化施設を高齢者や障害者等が安心して使用することができるよう、以下のような取組を実施している。

<県民ホール>

- ・段差を解消するスロープを購入し、利用者に臨機応変に対応
- ・リフターを設置し、車椅子利用者が、介添え無しに舞台・楽屋などへの移動ができるよう配慮
- ・職員の手話講習の受講、筆談器の設置、災害時の非常放送の視覚化対応など、聴覚障害者への配慮

<近代文学館>

- ・手摺の設置等、トイレのバリアフリー化の実施

<かながわアートホール>

- ・玄関前の階段に手摺を設置

○ 成果

施設利用者から、概ね良好な評価をいただいている。

○ 問い合わせ先

窓口	神奈川県（文化課）	住所	横浜市中区日本大通り1
電話	045-210-3804	FAX	045-210-8840
E-mail	bunkakikaku@pref.kanagawa.jp		

障害者作品展の開催

- 活動地域：千葉県千葉市
- 活動日時：10月上旬

○ 内容

障害者が自らの障害を乗り越え制作した作品を募集し、広く一般市民に公開展示することにより、障害者への理解を深めるとともに、障害者に自己表現の場を提供し、自立と社会参加の促進に資することを目的に、開催している。

※一般社団法人千葉市身体障害者連合会への委託事業

○ 成果

[平成 29 年度実績等]

- ・開催日：9月27日～29日
- ・場所：千葉市文化センター市民サロン
- ・出品者数：172人
- ・参加出品数 232点
- ・来館者数：310人

○ 取組の様子



○ 問い合わせ先

窓口	千葉市（障害者自立支援課）	住所	千葉市中央区千葉港 1-1
電話	043-245-5175	FAX	043-245-5549
E-mail	shogajiritsu.HWS@city.chiba.lg.jp		
URL	http://www.city.chiba.jp/hokenfukushi/koreishogai/jiritsu/sakuhinntenn.html		

相模原地区障害児・者作品写真展

- 活動地域：相模原市全域
- 活動日時：7月下旬～8月上旬

○ 内容

障害児・者の自立と社会参加の促進を図るため、相模原市内の福祉施設、学校及び在宅の障害児・者が、日常の活動や学習の中で行われる様々な文化活動をおして、市民の理解と協力を得るとともに、障害者福祉の向上に資することを目的として、年1回作品展を実施する。市は当該事業を後援するとともに、補助金の交付を行う。

○ 成果

平成29年度

開催日：8月2日～4日

会場：イオン相模原店1階 古淵駅側パブリックスペース

展示内容：写真、絵画、陶芸作品、木工作品、手工芸作品など

参加団体：18団体

○ 問い合わせ先

窓口	相模原地区障害児・者作品写真展実行委員会
----	----------------------

相模原市障害者作品展

- 活動地域：相模原市全域
- 活動日時：12月（障害者週間周辺の3日間）

○ 内容

市内在住の身体障害者が日頃の努力によって作り上げた作品を展示することで、障害児者の自立と社会参加の促進を図り、また、作品の展示を通じて、広く市民に障害に対する理解を深め、障害福祉の向上に資することを目的として、年1回、市と市身体障害者連合会が共催で実施している。

平成29年度からは知的・精神の2障害についても参加を可能とし、参加者の拡充を図る。

○ 成果

平成28年度

開催日：12月2日～4日

会場：相模原市立あじさい会館6階 展示室

出品数：478点

来場者数：262名

○ 取組の様子



○ 問い合わせ先

窓口	相模原市健康福祉局福祉部障害政策課	住所	相模原市中央区中央2-11-15
電話	042-707-7055	FAX	042-759-4395
E-mail	shougai-seisaku@city.sagamihara.kanagawa.jp		

障害者職業能力開発校の運営

○ 活動地域：神奈川県全域ほか

○ 活動日時：通年

○ 内容

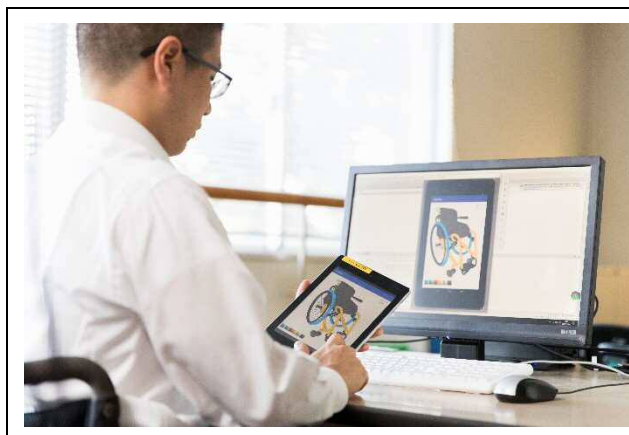
一般の職業能力開発校において職業訓練を受けることが困難な、身体、知的及び精神障がいのある方に対して、その有する能力を活用した職業能力の回復、増進、付与等を目的とした職業訓練を行い、障がい者の就職の促進に資する。

○ 成果

平成 28 年度実績

訓練コース数 12 コース 受講者数 128 名

○ 取組の様子



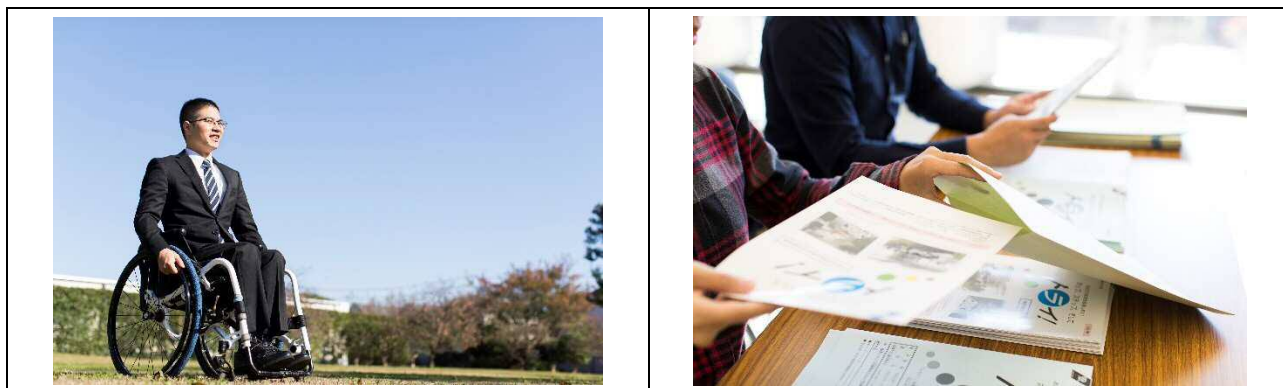
○ 問い合わせ先

窓口	神奈川県（産業人材課・神奈川県障害者職業能力開発校）	住所	横浜市中区日本大通 1
電話	045-210-5715	FAX	045-201-6952
E-mail	sanjin-noukai@pref.kanagawa.lg.jp		
URL	http://www.pref.kanagawa.jp/docs/f3e/kanakou/		

障がい者の態様に応じた多様な委託訓練の実施

- 活動地域：神奈川県全域ほか
- 活動日時：通年
- 内容
企業、社会福祉法人、特定非営利活動法人、民間教育訓練機関等の多様な委託先を活用し、障がい者の能力、適性及び障がい者雇用ニーズに対応した委託訓練を実施し、就職に必要な知識・技能の習得を図ることにより、障がい者の就職の促進に資する。
- 成果
平成 28 年度実績
訓練コース数 35 コース 受講者数 221 名

○ 取組の様子



○ 問い合わせ先

窓口	神奈川県 (産業人材課・神奈川県障害者職業能力開発校)	住所	横浜市中区日本大通 1
電話	045-210-5715	FAX	045-201-6952
E-mail	sanjin-noukai@pref.kanagawa.lg.jp		
URL	http://www.pref.kanagawa.jp/cnt/f70158/		